

# 「しまっちんぐ2016(秋)」参加者アンケート結果

平成29年2月 国土交通省国土政策局離島振興課

# 1. アンケート調査概要

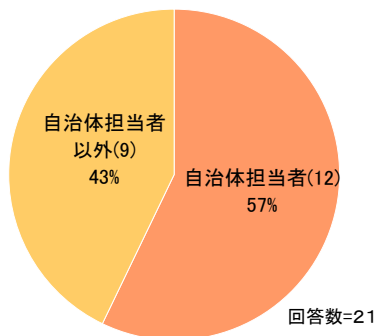
## 「しまっちゃんぐ2016（秋）」概要

1. 日時：平成28年10月29日（土）13:00～17:30
2. 場所：ヤフー株式会社 コワーキングスペース「LODGE」（東京都千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町 18階）
3. 参加：離島関係者 12地域 31名 企業・団体 45団体 58名 計89名
4. 内容：①離島プレゼンテーション、②企業プレゼンテーション、③マッチング交流会

## アンケート調査概要

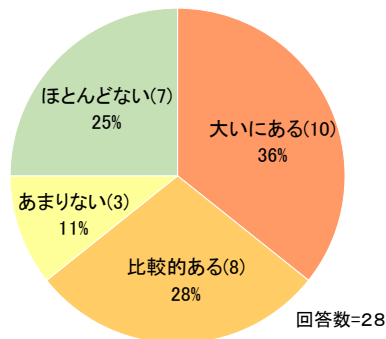
1. 調査対象：「しまっちゃんぐ2016(秋)」の参加者
2. 回答数（回収率）：49（55%）、うち離島側21（68%）、企業側28（48%）
3. 調査内容：満足度、改善点、期待等
4. 回答者の属性

### 【離島側】

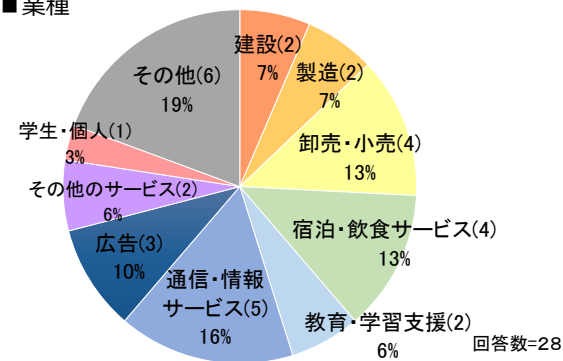


### 【企業側】

#### ■これまでの離島との関わり



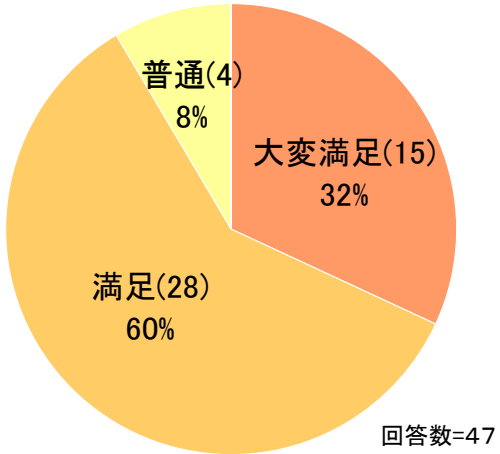
#### ■業種



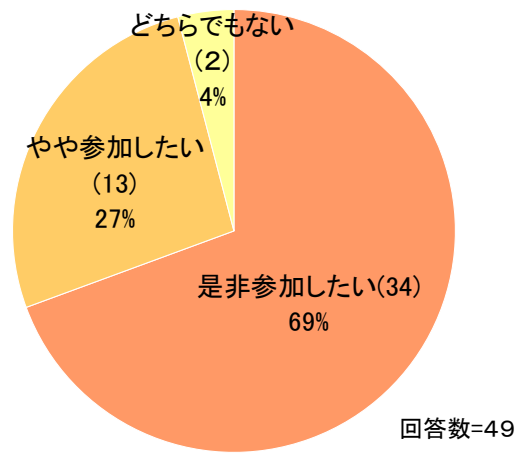
# 2. マッチング交流会の満足度

- 交流会は、9割が「大変満足」「満足」と回答。9割が「次回も参加したい」との意向で好評だった。
- 離島側からは、様々な業種の企業と直接交流できた点、企業から助言を得られた点などが有意義だったとの声が寄せられ、企業側からは、ネットワークの拡大につながり、知識が増えた等の声が寄せられた。

問：今回の企画（交流会）はいかがでしたか？



問：同様の企画があつたら、また参加したいと思いますか？



### 主な回答理由

#### 【離島側】

- ・このような様々な業種の企業と直接交流する機会は大変有意義だと思う。
- ・今後につながりそうな商談や、助言をいただいたことで大変有意義であった。また、参加した島の若者の意識改革につながったと感じられた。

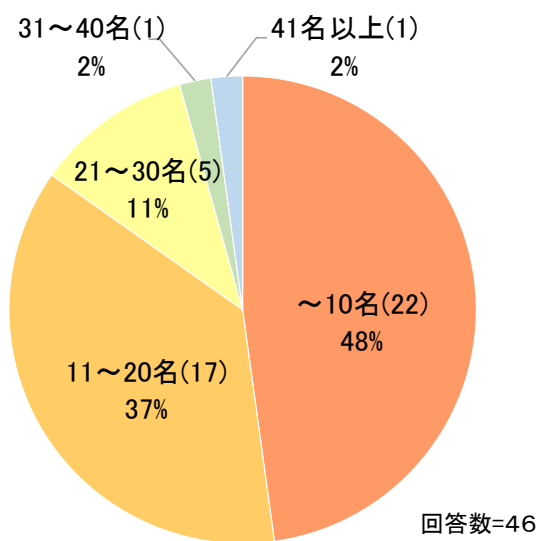
#### 【企業側】

- ・このようにたくさんの離島地域の方と普通は会えない。ネットワークの拡大に繋がった。
- ・知識が増えた。知らないことがたくさん知れた。具体的な対話ができる。

# 3. マッチング交流会での成果

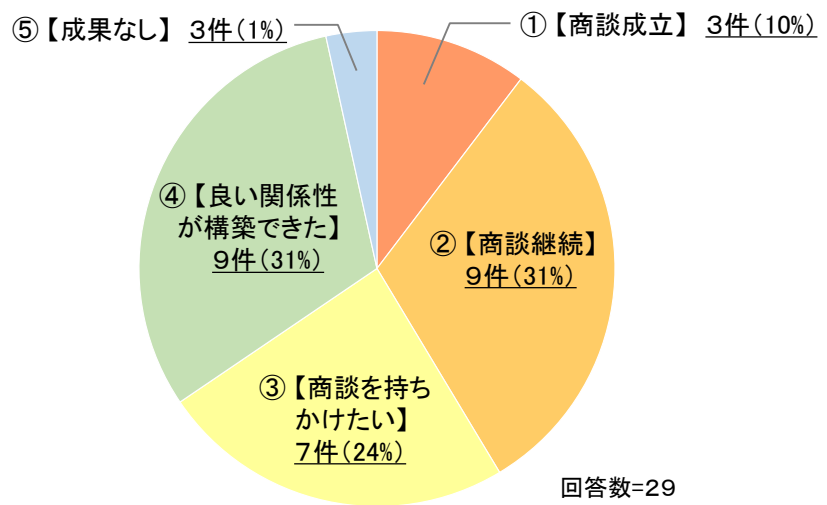
- 交流した人数としては、「～10名」「11～20名」との回答が多かった。
- 交流会の成果としては、「商談成立」3件、「商談継続」9件の回答があった。これ以外でも、「離島と良い関係性が構築できた」が9件あるなど、ほぼ全ての企業が何らかの成果を得られたと回答している。

問：交流会では、どのくらいの方と交流が持てましたか？



問：具体的なマッチングの成果はありましたか？

**【企業側のみの設問】**



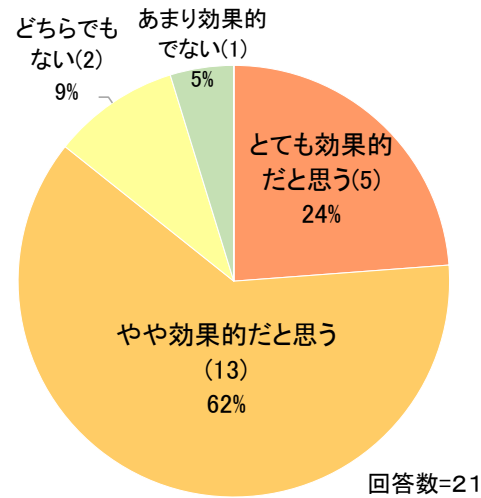
- 【凡例】**
- ①【商談成立】プロジェクトについて連携が決まった。
  - ②【商談継続】プロジェクトの連携に向け、今後、具体的に話し合うこととなった
  - ③【商談を持ちかけた】離島の理解が深まったので、今後、離島側へ事業プランを提案する予定
  - ④【良い関係性が構築できた】良い関係が構築できたので、引き続き、離島の話聞いてみたいと思う
  - ⑤【成果なし】特に成果はなかった

# 4. マッチング交流会の手法について

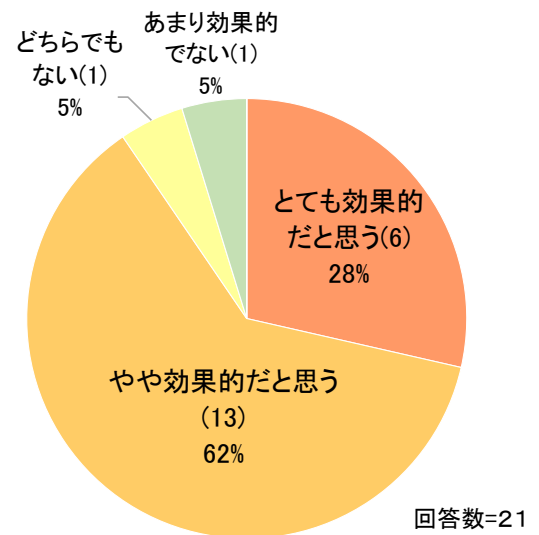
- 交流会の手法については、離島側、企業側いずれも9割が「効果的だと思う」との回答であった。
- 離島側、企業側それぞれからプレゼンテーションを行い、お互いの理解を深めた上で、直接対話する場を設けた点が良かったと評価する声があった。一方で、交流会の時間が少ないとの意見が数多く寄せられた。

問：マッチングするために、今回の交流会の手法はいかがでしたか？

【離島側回答】



【企業側回答】



## 主な回答理由

### 【離島側】

- ・ 離島のビジョンやプロジェクトを企業側が理解した上で意見交換を図れたので、率直にお互いの意見を言い合える交流会になったと思う。もう少し時間をとっていただければ、より多くのマッチングの機会が生まれると感じた。

### 【企業側】

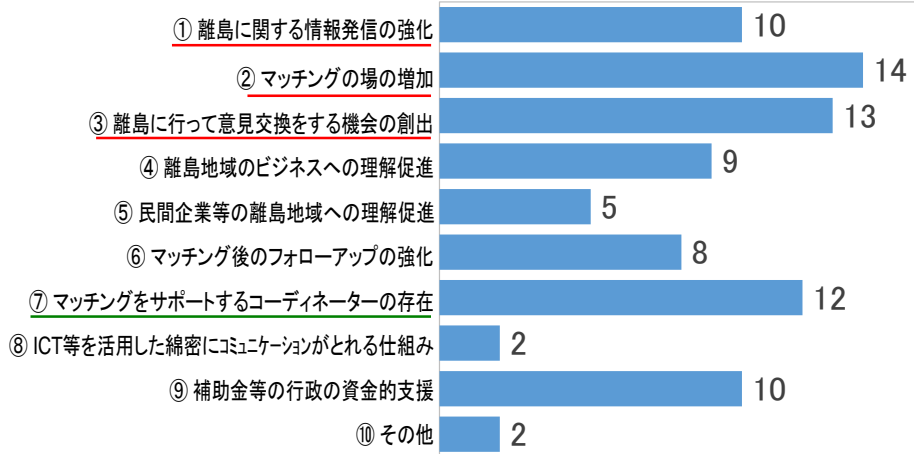
- ・ 島が何を必要としているのかが最初に分かってよかった。
- ・ プレゼンは事前にwebで共有して、当日はface to faceの議論中心がよいと思われる。
- ・ 実際に顔を合わせると、思わぬ話が聞ける。
- ・ 少し時間が短い。

# 5. マッチングをより一層促進するために必要と思うこと

- マッチングを促進するために必要と思うこととしては、離島側、企業側いずれも「離島の情報発信の強化」「離島で意見交換する機会の創出」「マッチングの場の増加」が挙げられた。特に離島側からは「離島で意見交換する機会の創出」について求める意見が多かった。
- 一方、離島側のみ多かった項目として「コーディネーターの存在」が挙げられた。

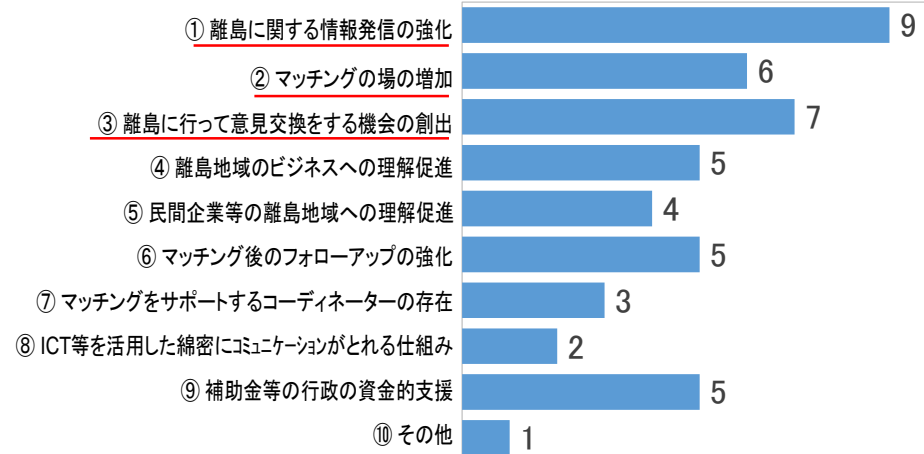
問：離島と企業とのマッチングをより一層促進するために、何が必要だと思いますか？

### 【離島側回答】



※複数回答可

### 【企業側回答】



※複数回答可

### 主な意見（離島側回答）

- ・ 受入側（離島）の対応にも限りがあるかもしれないが、民間事業者の方には、どのような目的であれ実際に離島に足を運んでいただき、離島の現状を知ってほしい。
- ・ プレゼンテーションのみでプランを進めていくことなどは難しい面も多々あると思うので、少しでも興味や関心をもってくださったら、ぜひ一度来島していただきたいと思ひます。

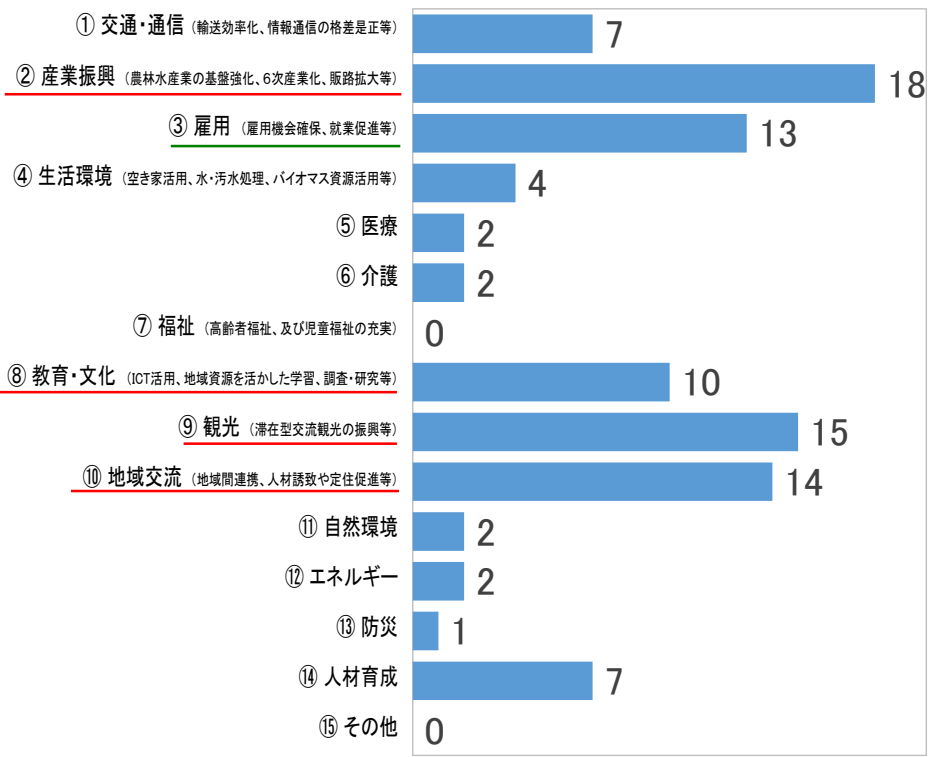
# 6. 興味・関心のある取組分野

○ 興味・関心の高い取組分野としては、離島側、企業側いずれも「産業振興」「観光」「地域交流」「教育・文化」が挙げられた。これらの分野については、マッチングの可能性が高いと考えられる。

○ 一方、離島側のみ関心の高い分野としては「雇用」が、企業側のみ関心の高い分野としては「生活環境」「自然環境」が挙げられた。したがって、離島側は企業側に対して島の生活環境や自然環境のさらなるPR、企業側は離島側に対して事業活動の島の雇用への影響をPRすることで、マッチングの可能性が高まると考えられる。

問：企業と取り組みたいと思う分野はどれですか？

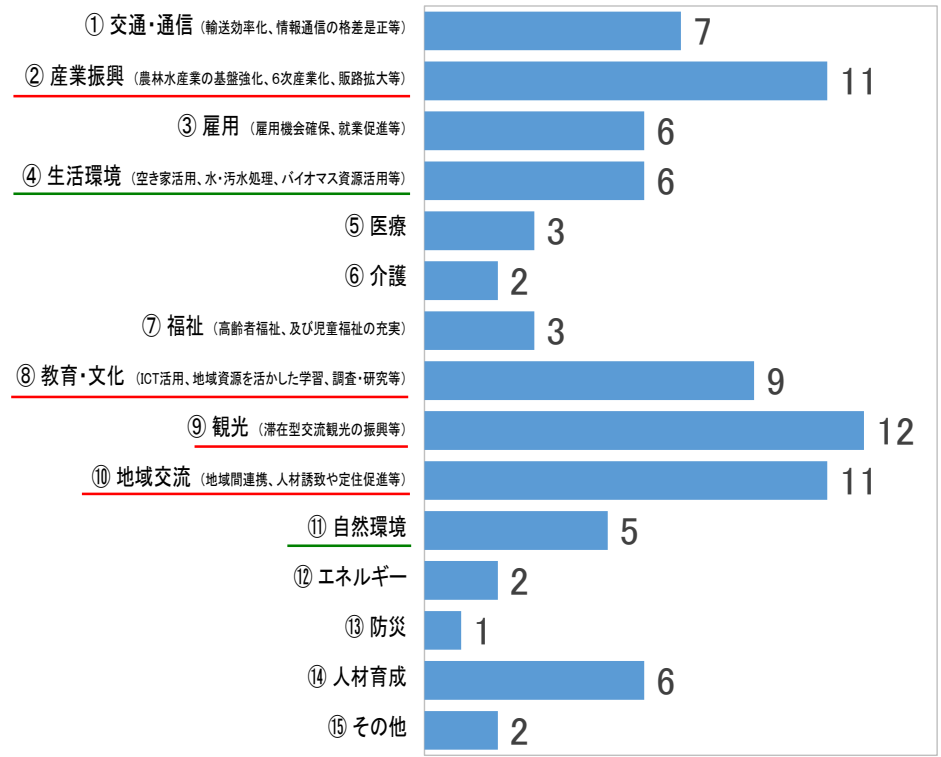
【離島側回答】



※複数回答可

問：興味を感じる分野はどれですか？

【企業側回答】



※複数回答可

## 7. 離島で事業活動を行うことの魅力

○ 企業が離島で事業活動を行うことの魅力としては、社会課題の解決に関われること、地方創生や活性化に興味があること、未開拓の分野と感ずることなどの回答が寄せられた。

問：離島での事業活動に興味をもったきっかけ（又は魅力に思ふこと）は何ですか？

### 【企業側のみ設問・回答】

- ・ 地方創生と活性化。観光資源の発掘に興味あり。
- ・ 人との関わりが近いので、直に事業活動の効果を感じられる。
- ・ 既に離島で事業活動をしている。
- ・ 会社の仕事の関係上。
- ・ そこでしか作れないコンテンツがあること。
- ・ 社会課題の解決ができる事業をおこしたい。
- ・ 社会課題の解決をしたい、未開拓の分野と感ずる、地方創生に取り組みたい。
- ・ 島が好きなので参加したい。
- ・ 仕事上参加する機会がある。
- ・ 地方創生に協力したい。

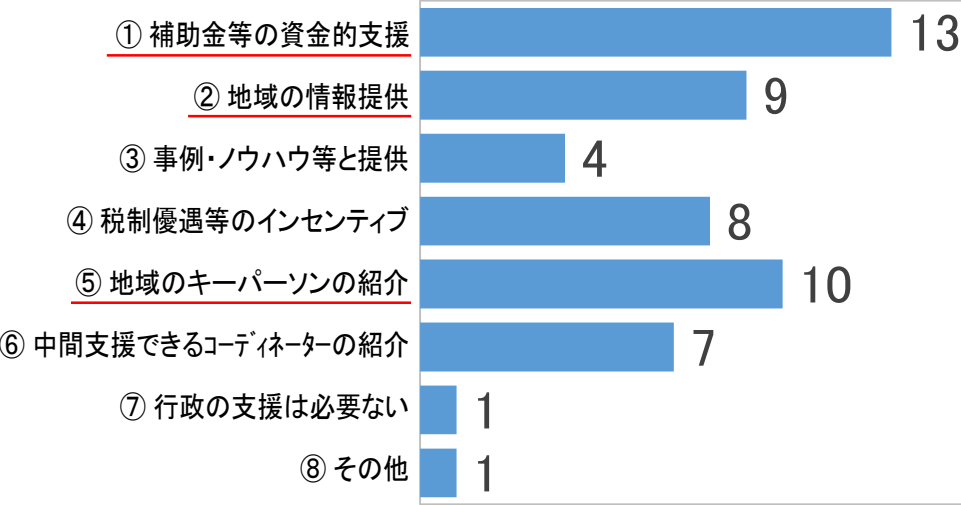


# 8. 行政へ求めること、今後に期待すること

- 企業側から、行政へ求めることとして「補助金等の資金的支援」「地域のキーパーソンの紹介」「地域の情報提供」を求める声が多かった。
- 離島側から、今後に期待することとして、継続開催の希望、より多くの参加者との交流、アフターフォローの徹底、補助金等の設置などの意見が寄せられた。

問：今回の企画のように、民間企業等が地域とマッチングを図る際、行政には何が求められると思いますか？

### 【企業側だけの設問・回答】



※複数回答可

問：「しまっちゃんぐ」事業の今後に期待すること

### 【離島側だけの設問・回答】

(マッチング企画の運営について)

- ・繋がりが出来るだけでもありがたいと思う。近年発展目覚ましいテレビ会議システムなどを使っても良いのではと思う。またテーマ別のマッチングなども、より精度が高まるかと思われる。
- ・継続的な開催と事例を多く作っていく為のアフターフォローを徹底してほしい。
- ・もう少し長いプロジェクト閲覧期間を持つことにより、企業も特定の離島向けの提案が可能になると思うので、時間的に余裕を持てるようなスパンで実施することが望ましい。

(継続開催の希望)

- ・企業と離島とのマッチングは必要不可欠だと思われ、普段聞くことがあまりない企業の考えに直接触れることのできる貴重な機会と考えるので、可能な限り継続開催をお願いする。

(より多くの参加者との交流を望む意見)

- ・いろいろなジャンルの企業が参加してもらえれば、企業と離島のつながりの可能性も広がると思う。

(補助金の希望)

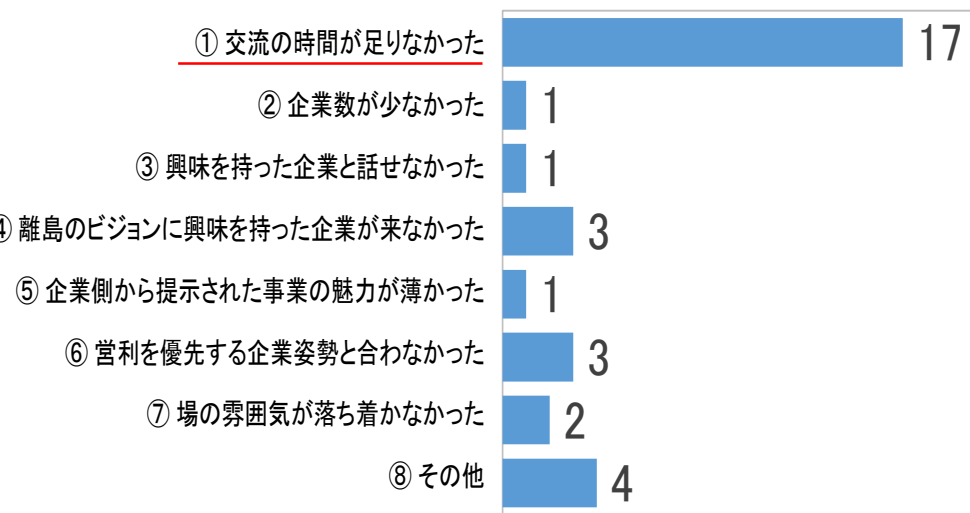
- ・離島と企業とのマッチングが成立する際には事業推進のための補助金等を設けていただきたい。

# 9. 「しまっちゃんぐ2016 (秋)」で困ったこと、苦勞したこと

- 交流会で困ったこととしては、「交流の時間が足りなかった」との声が圧倒的に多かった。
- 苦勞した点としては、取組への理解、準備期間が短く余裕がなかったなどの意見が寄せられた。

問：企業と対話する際、困ったことはありましたか？

【離島側のみ設問・回答】



※複数回答可

問：ワークショップから交流会までの間で特に苦勞した点

【離島側のみ設問・回答】

- (スケジュールの把握)
  - ・しまっちゃんぐの募集から交流会までの時間が少なすぎた。もう少し余裕がほしい。
  - ・ワークショップが期間、時間的にも短く、成熟した内容ではないところから、実行性の高いプロジェクトへシフトさせることにより、ワークショップの内容と若干共有されていない部分も出てきている。さほど苦勞は正直ない。
- (しまっちゃんぐの取組みの理解)
  - ・初めての参加でしたので、「しまっちゃんぐ」自体の取組について自分なりの理解ができず、準備が後手後手に至った感があった。
- (情報共有について)
  - ・企業情報を事前に把握することができなかった。企業締切をもっと早めていただき、企業情報をいただきたい。
- (その他)
  - ・ワークショップで出た提案の整理とコンセプトの決定。交流会に参加する島民の旅費の捻出。

# 10. その他意見

- 多くの企業と交流でき大変有意義であったとの声をいただいた。一方で、交流会の時間が足りなかったなど、改善に関する貴重なご意見をいただいた。

## 主な意見（離島側）

### （感想）

- ・それぞれの地域がどのようなアイデアをもっているのか知ることができたこと、また私たちのプレゼンテーションに対して興味や関心を抱いてくれる個人・企業の方に出会えたことが良かった。
- ・当初予定していた企業はなかなか見つからなかったが、予定にない企業から諸々の提案があり、大変参考になった。
- ・他の離島の問題点や今後の課題が共有できたことが良かった。ただ、実際に持ち帰って友好的な手段や特効薬などはなく、地道に活動していくことが大切であることを再認識した。
- ・当町の事業とマッチングしそうな企業と話をすることができた。
- ・リラックスした空気の中で、ざっくばらんな打合せができた。

### （改善に関する意見）

- ・島側からのプレゼンの時間が短いので思いを十分に伝えられなかったと思う。
- ・プレゼンや企業との交流会の時間が無さ過ぎでした。また、プレゼン側も地元のPRで終始する団体も多く、プロジェクトの事業内容に特化するよう統一すべきと思います。
- ・プレゼンで全ての内容を伝えることが難しいため、プレゼン資料を全参加者に配布してもらえたらいいと思う。
- ・1回目のイベントよりも、具体的なイメージを持って参加いただいた企業は多かったように感じた。ただ、交流時間の短さが残念でした。ワークショップもコーディネーターが来るのではなく、実際にマッチングをできそうな企業に旅費を助成するなど、アフターフォローを行った方が効果があがるのではないかと思います。
- ・「しまっちゃんぐ」当日に参加される企業リストの早期公開をお願いしたい。参加リストが入手できれば、事前の順部ももっと濃密になると思いますし、事前アポイントをとるなどしてピンポイントで接触できる機会も格段に高まると思います。
- ・離島、企業関係者と情報交換できたことはとてもよかったと思います。ただ、時間がなく、参加者の自己紹介等もプレゼンでする程度で意見交換するまでに時間を要してしまいました。企業情報も事前に把握できず、どの企業と意見交換がしたいなど機会を有効に活用できなかった点もあります。プレゼンの時間ももう少しほしいです。半日だけの交流会ではなく、2日間の交流会で離島、企業との情報交換をしていただきたいと思います。
- ・我々の要望や現状もあるが、それよりも企業側の要望や意向が強かった感がある。対応できる部分については引き続き協議を進めていきたいと思うが、企業の要望を集めて実現できる島に手を挙げてもらうという今回の手法とは逆のマッチングも面白いのではないかと感じた。